

挑む!

独立研究者

森田 真生まさおさん(30)人間とは何か
数学から考える

「『3』を見た人はいないのに、みんな『3』を経験してる。数学って五感に回収されない特殊な身体的行為なんです」。トークショーで約80人を前に語る。偉大な数学者の変人ぶりを紹介すると、男女がほぼ半々の会場から笑いが起きた。そして話題は世界的な難問「ABC予想」へ飛躍する。話が熱を帯びてくると早口になった。

少年時代はバスケットボールに夢中で、マイケル・ジョーダンにあこがれた。コートで培ったのは、考えるよりも先に体が動いている、そんな身体性や実感へのこだわり。学問も身体から

1985年、東京都生まれ。2歳から10歳までアメリカのシカゴで暮らした。「数学する身体」を著したほか、「数学する人生」を編集(ともに新潮社)。

切り離せないと考えていたが、理系は座学一辺倒だった。『アンチ理系』となり、東京大学文科二類に進んだ。

大学3年の夏、古書店で一冊の本に出会う。岡潔たかよしの「日本のこころ」だ。「人の中心は情緒である」という天才数学者の言葉に触れ、脳内だけに閉じない数学の可能性に目を見開かされた。東大の数学科で学び直し、卒業後の2012年、岡が一時期を過ごした京都に居を移した。

組織に属さず研究を進める。その傍ら、数学の面白さを伝えるため、「数学の演奏会」など、ライブ活動を年60回近く続けている。

突き止めたのは、「人間とは何か」。その問いに迫れるのが数学だと信じている。

文・大貫聡子 写真・池永牧子

「挑む!」では、関西を元気にしてくる人たちを紹介します。

記者から ● 長男に岡の思想の「情緒」にちなんだ名前をつけた。子守歌代わりに素数の魅力を語りかける。